

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 14 日

評価対象事業		評価者	障害福祉課長	濱本 正行
健福-30	実施事業	障害者社会参加促進事業	■ 自治事務 ■ 法定受託事務	主管課 障害福祉課 関連課
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	地域生活の支援サービス

1 事業の目的

対象	障害者等
意図	在宅の障害者等の社会参加及び外出を支援するため。
効果	障害者等の社会参加の促進を図る。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障害者等の依頼により、手話通訳者等を派遣し、聴覚障害者等の情報保障を図った。 ・手話通訳者を週5日窓口に配置した。 ・手話講習会入門、基礎、中級、上級講座等を開催した。 ・障害者ふれあいフェスティバルを開催した。 ・障害者が自ら運転する自動車を改造する場合に自動車改造費の助成を行った。 ・障害の程度が1級から4級までの下肢・体幹・内部障害、あるいは1級の上肢の障害を有する方への自動車運転訓練費の助成は対象者がいなかった。 ・在宅の重度障害者に福祉タクシー利用券・福祉自動車燃料費助成券等を交付し利用料等の助成を行った。 ・聴覚障害者に対する緊急時の通報手段として、本庁舎1階に聴覚障害者用緊急通報装置（パトランプ、電光掲示板）を設置した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算	01年度(2019年度)決算	データ区分	02年度(2019年度)当初予算	備考
人口等のデータ	人口	176,308人	人口	176,608人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	81,763世帯	世帯数	83,058世帯	
	事業の対象者数				
運営資源状況	決算値(千円)	44,078	41,891	当初予算(千円)	45,841
	国県支出金	2,733	4,714	国県支出金	2,433
	地方債			地方債	
	その他			その他	
	一般財源	41,345	37,177	一般財源	43,408
	人員配置数	2.2	2.2	人員配置数	2.0
事業費運営	総事業費(千円)	61,162	59,543	総事業費(千円)	64,628
	市民1人当りの経費(円)	347	337	市民1人当りの経費(円)	366
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない
	今後も市が実施すべき事業か	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、成果を計ることはなじまない
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-1. 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー ふれあいフェスティバル実行委員会 手話講習会実行委員会 要約筆記講習会実行委員会
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 福祉タクシー利用券等の交付、手話通訳者の派遣等、障害者の社会参加に対するニーズは引き続きあり、事業を実施していく必要がある。また、障害者差別解消法施行により、手話通訳者の設置など合理的配慮の推進を維持する必要があり、予算規模は現状維持とする。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	福祉タクシー利用券等や手話通訳者の派遣等は、障害児者の社会参加及び外出支援に大きく寄与している。各種制度について、利用状況に応じて、持続可能な制度の在り方について検討するとともに、より使いやすい制度を目指していく。	

令和元年度(2019年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・他市制度を参考にタクシー券の有効な活用による障害者の社会参加促進について引き続き検討する。 ・タクシー券・福祉有償運送・自動車燃料費等の事業者との契約の自動更新について引き続き検討を行う。 	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・他市制度を参考にタクシー券の有効な活用による障害者の社会参加促進について検討したが、令和2年度は現状制度にて継続することとした。 ・タクシー券・福祉有償運送・自動車燃料費等の事業者との契約の自動更新について、令和2年度契約から実施できるよう準備を行った。 	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	手話通訳者等の派遣や福祉タクシー利用券等の助成については、利用状況によるものであるが、持続可能で効果的な制度とするため、引き続き制度の在り方について検討を行う。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	福祉タクシー利用料券等支給額(金額×枚数)							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	逗子市	横須賀市	
タクシー券	24,000円	28,000円	24,000円	21,600円	利用タクシー会社により異なる	未実施	21,600円(血液透析患者は32,400円)	
自動車燃料費	18,000円	未実施	24,000円	未実施	未実施	未実施	21,600円(血液透析患者は32,400円)	
比較事項	手話通訳者の窓口設置状況							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	逗子市	横須賀市	
他市実績	週5日 8時30分～17時	週5日 8時30分～17時	週5日 9時～16時	週5日 8時30分～17時	週5日 8時30分～17時15分	週5日 8時30分～17時	週5日 8時30分～17時15分	

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	福祉タクシー利用券は多くの近隣市で実施をしているが、自動車燃料費助成券は未実施の近隣市が多い。本市では自動車燃料費助成券の利用率が97.1%と極めて高く、障害児者の社会参加促進や外出支援に対する選択肢を広げ提供ができています。手話通訳者の窓口設置については、平成30年度の設置時間は半日であったが、令和元年度には設置時間を拡充し、他市と同等の設置となった。
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	手話通訳者・要約筆記者の派遣件数						単位	回	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
(実績値のみ記載)	目標値	-	-	-	-	250	250				
	実績値	224	254	177	239	238	372				
	達成率	-	-	-	-	95.2%	148.8%				
指標の内容	障害者福祉タクシー券利用率(利用枚数/交付枚数)						単位	%	指標の傾向	↘	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
(実績値のみ記載)	目標値	-	-	-	-	74.0%	74.0%				
	実績値	70.0%	72.3%	71.6%	71.6%	67.8%	65.9%				
	達成率	-	-	-	-	91.6%	89.1%				
指標の内容	障害者福祉自動車燃料券利用率(利用枚数/交付枚数)						単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
(実績値のみ記載)	目標値	-	-	-	-	99.0%	99.0%				
	実績値	98.7%	93.4%	98.1%	98.3%	93.2%	97.1%				
	達成率	-	-	-	-	94.1%	98.1%				
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	手話通訳者、要約筆記者の派遣件数について、令和元年度に特に件数が増加したが、これは聴覚障害者に必要な医療診察及び教育参加が多くなったためであり、当事業は利用者の状況に左右されるものと考え。福祉タクシー券の利用率は年々低下し、自動車燃料券の利用率は90%台の高水準で推移しているなど、利用率では差が生じているが安定して利用されている傾向にあり、障害者の外出支援の役割を担っている。手話通訳者等の派遣や福祉タクシー利用券等の助成について、持続可能で効果的な制度の在り方の検討を引き続き検討する。										